

賤ヶ岳～木之本街並み散策のご報告

担当 6 班

日時：2017年5月26日金曜日

集合場所：新大阪バスターミナル

集合時間：7時50分集合8：00出発

参加者：71 名

天候：晴れ時々曇り



行程：新大阪バスターミナル出発8:00 ⇒阪神高速・名神高速豊中IC IN 8:30 —(名神高速)—
(多賀SAトイレ休憩) 10:20~10:35 ⇒(名神高速~北陸自動車道) ⇒賤ヶ岳リフト前バス降車
11:05 ⇒リフト6分⇒賤ヶ岳頂上11:30(ボランティアによる合戦のお話、昼食、班会議) ~
12:30 出発⇒余呉湖荘前バス乗車13:15 ⇒高月観音の里歴史民俗資料館バス降車~ 向源寺
13:45~ 14:15 ~ 民族資料館14:30~15:10 バス乗車⇒木之本地蔵院前バス降車15:25 ~ 木之
本街並み散策~ ⇒木之本駅前駐車場バス乗車16:05 ⇒湖西道路⇒名神高速・京都東IC 18:00
⇒名神高速吹田IC ⇒新大阪バスターミナル帰着19：20到着

・新大阪バスターミナル予定通り8時に出発し、途中工事で渋滞しましたが賤ヶ岳リフト前には11時過ぎには到着しました。(車内催し担当のみなさん、ありがとうございました)
・賤ヶ岳山頂では余呉湖を眼下に見ながらガイドさんによる合戦のお話を伺いました。秀吉の天下取りの基礎が築かれた戦いということで興味深く聞き入りました。同時に本能寺の変から8年間というスピードで天下統一を成し遂げた秀吉のパワーと勢いに感嘆しました。
・昼食休憩後、皆で賤ヶ岳を下りましたが、途中足の弱い方を何人もの方が気遣いながらサポートしておられました。そら組の仲間意識の強さと温かさを感じました。



奥琵琶湖の景色に癒されます



ガイドさんの説明に聞き入る



これから国宝観音様とご対面



木之本地蔵院の大銅像

・木之本町は北国街道の宿場町、かつ木之本地蔵院の寺内町として栄えた場所ということで、午後一番に向源寺（渡岸寺）の国宝・十一面観音像を拝観しました。ガイドさんの分かりやすい解説のお陰で観音様の美しいプロポーションや立派な頭上面の意味も良く理解できました。

・続いて訪問した木之本町の街並み散策。シンボルの木之本地蔵院は古くより眼の仏様、延命息災の仏様として信仰されており、開山したのは1350年前とのことです。境内にはご本尊の姿をうつしたという大銅像が開眼されました。(明治27年)
・木之本駐車場を16時過ぎに出て帰路につきましたが、新大阪には19時20分。皆さん大変お疲れさまでした。

(以上文責 山添)